

自分たちの手で住みよいきれいな町へ



美しい深浦の景観を維持し、住み心地の良い地域にしようと毎年行っている沿道美化清掃が今年も町内全域で実施されました。早朝から自治会や老人クラブなど約2,500人が参加し、道路沿いや海岸など、自分たちが生活している地域のごみ拾いを行いました。地域住民の方たちは、手分けして地区全体を歩き回り、道端に落ちているごみを拾いました。今後もきれいになった町の景観を守っていくためにも、町民のみなさんが「ごみをポイ捨てしない」意識を持って生活しましょう。

4/20

保健協力員会総会及び研修会が開催されました

町保健協力員会の総会及び研修会が役場文化ホールで開催されました。

総会には新たに保健協力員となった方を含め71人が参加し、新任の保健協力員への委嘱状の交付や昨年度の事業報告と今年度の事業計画(案)等が審議され、すべて承認されました。続いて行われた研修会では、管理栄養士やスポーツ栄養士といった資格を持つFREC株式会社の馬淵代表取締役にお越しいただき、人生100年時代を美しく健やかに生きるための食生活をテーマに食事の大切さを改めて学びました。また、会場内では糖質や野菜の摂取量などを測定する機材が設置され、協力員の方々は測定をし、自分自身の食生活を振り返っていました。



4/24



深浦サーモン水揚げ

大規模サーモン養殖事業に取り組む日本サーモンファーム(株)が、深浦港で「日本海深浦サーモン」の水揚げを行いました。ふ化から中間養殖、海面養殖まで町内での一貫生産体制で成長したサーモンを、この日は町内の漁業関係者30名ほどが集まり、大きなタモ網で約8,000匹を次々と水揚げし、鮮度を保つため、すぐに活締め処理を施して出荷されました。

深浦漁協及び新深浦町漁協と連携しながら、今年は深浦港で約60トン、北金ヶ沢漁港で約210トン、計約270トンが水揚げされる予定です。水揚げ後は全国各地に出荷され、皆さんに深浦産サーモンを味わっていただきます。

4/25

追良瀬牧場で放牧

畜産農家の省力化と繁殖牛の飼育コスト削減を目的とした放牧が、追良瀬牧場で行われました。

追良瀬牧場では、えさとなる草を求めて広い草道を歩き回ることによって、健康で病気に強い丈夫な牛を育てようと、春から秋までの期間中、牧草地に放牧する「夏山冬里方式」で繁殖牛を育てています。町内7軒の畜産農家から、親牛37頭、子牛4頭合わせて41頭が牧場に集合。個体確認を終えた牛たちは、柵が開けられると勢いよく走りだし、久しぶりの草地を元気に駆け回りました。



4/26

みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。
深浦町総合戦略課 企画調整係
電話 74-2122

ドキドキ、わくわくの新生活

4/8

町内の小中学校の入学式が一斉に行われ、小学校31人、中学校35人の児童・生徒が新たな学校生活をスタートさせました。

このうち、いわさき小学校には男子3人、女子6人が入学。新入生9人は、一人ずつ名前を呼ばれると大きな声で元気に返事をしました。9人の新入生は全員で在校生・先生たちへ「よろしくお願いします!」とあいさつをし、これからの学校生活への期待に胸を膨らませていました。



安全運転をお願いします

春の風が吹く中、春の交通安全街頭指導が役場前とJR十二湖駅前の国道2か所で行われました。

町交通安全対策協議会、鱈ヶ沢地区交通安全協会各支部指導隊、交通安全母の会の方たちが参加し、シートベルト、チャイルドシートの正しい着用の指導や、子供たちが安心して登校できるよう、啓発グッズを配りながらドライバーへ安全運転を呼びかけました。

4/10

